

# 釧根人

(166)

―ご出身は滝川市です。  
佐々木 高校卒業まで滝川で暮らしていました。釧路公立大学への進学をきっかけに、道東との縁ができました。

―どのような子ども時代を過ごされましたか。  
佐々木 小学校から高校まで、野球一筋のスポーツ少年でした。野球は大学でも続けました。

―大学生時代を過ごした釧路の印象や思い出は？  
佐々木 滝川は夏の暑さが厳しかったので、釧路の過ごしやすさには驚きました。映画館でのバイトやラーメン店の食べ歩きなど、大学生生活をエンジョイしていました。

―大地みらい信用金庫として2011年に入庫されました。  
佐々木 当初は就職難でしたが、経済学部で学んだこともあり、金融業界一本に絞って就職活動を進めていました。なかでも地域に密着した金融機関の信用金庫は魅力的でした。入庫から14年経ちますが、一貫してお客さまと直接向き合う渉外を担当しています。

―初配属は根室市の駅前支店ですね。  
佐々木 根室では約4年間を過ごしました。印象に残っているのは、金刀比羅神社の例大祭のにぎやかさ。御神輿を担がせてもらいましたが、お祭りを通じて地元のお客さまとの仲を深めることができたのがうれしかったです。

―前身にあたる根室信用金庫の設立地でもありませんか。  
佐々木 根室では約4年間を過ごしました。印象に残っているのは、金刀比羅神社の例大祭のにぎやかさ。御神輿を担がせてもらいましたが、お祭りを通じて地元のお客さまとの仲を深めることができたのがうれしかったです。

## 釧路、根室地方ゆかりの人々 ふるさと応援インタビュー

## 釧根地区の振興に貢献

佐々木 当庫は1916年設立の根室信用金庫（設立時は有限責任根室信用購買販売組合）がルーツで、来年110周年を迎えます。大地みらい信用金庫は、01年に根室信用金庫と厚岸信用金庫が合併して誕生しましたが、地域経済にしっかりと寄り添って支援していく運命共同体としての基本理念と伝統は、今も受け継がれています。

### 札幌の最新情報を還元

―山の手支店ではどのような業務を担当されていますか。  
佐々木 当支店は札幌支店に続く札幌エリアの2店舗目として、22年に開設しました。競合が激しい金融業界で差別化を図るため、相続や事業承継などのニーズに、トータルで応える相談業務をメインに据えて営業しています。

―ひと口に相続と言っても、事情はそれぞれ異なります。  
佐々木 だからこそ、一人ひとりのお客さまの目線に立って課題を解決するよう心がけています。金利が上昇局面に転じるなど、目まぐるしく変化する環境に対応できるように、自身自身の知識とスキルの向上も欠かせません。

―釧根経済への提言を。  
佐々木 育てる漁業やブランド産品の創出など、一次産業を中心に魅力ある事業に挑戦している起業家も多く、またそれだけのポテンシャルを秘めたエリアだと思います。札幌で得た情報や知見を釧根地区に還元していくことも当支店の重要な使命です。前向きに挑戦する皆さまと連携しながら、釧根地区の振興に貢献していきたいと思っています。（取材＝札幌・亜細亜社）



「釧路の思い出の味といえば『秀航園 本店』や『豪壺』のラーメン。根室なら喫茶店『薔薇』のエスカロップが定番ですね」と佐々木さん

大地みらい信用金庫プレミアムサポートセンター部長補佐 兼 山の手支店次長 佐々木 俊八さん

ささき・しゅんや 1987年滝川市出身。滝川市立滝川第一小学校、同江陵中学校、北海道滝川高等学校卒業。釧路公立大学経済学部経済学科に進学、卒業後は大地みらい信用金庫に入庫。根室市の駅前支店、釧路市の鳥取西支店、中標津支店勤務などを経て、2022年11月に開設された札幌市西区の山の手支店に配属。主に渉外担当として第一線で顧客対応にあたる。趣味は入庫してから始めたゴルフ。